



# 佐土原ロータリークラブ週報



**SERVICE Above Self**

## 超我の奉仕

2005-2006 年度 R I テーマ

会 長：岩切正司 幹 事：柳田光寛  
 副 会 長：佐藤高元 会報委員長：林 厚雄  
 会 計：荒武義博  
 事 務 局：〒880-0303 宮崎市佐土原町下田島 11703-18  
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877  
 携 帯：090-9596-6114 吉野由里子  
 例 会 日：毎週水曜日  
 例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ  
 TEL：0985-73-0109

次週 6月7日プログラム予定 年次度活動方針

第930回 平成18年5月31日(水)

本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. 「我らの生業」
- 3. 会長の時間
- 4. 幹事報告
- 5. 年次度活動方針
- 6. 点 鐘

第929回の記録 平成18年5月24日

★ 会長の時間 会長 岩切正司 君  
 CLPについて～

ロータリーには、職業奉仕の理念と、社会奉仕の理念と、二つの奉仕の理念があります。今年度のR Iのテーマがservice above selfである事は、今年度のロータリー活動は社会奉仕に重点を置くことを表明したものであります。会員数が激減して機能を喪失したクラブの存在が問題になっています、何よりもマンパワーが優先するボランティア活動ですからこういった弱小クラブでもボランティア団体として自立して行く為の最小限の管理組織を想定したのがCLPだと考えられます。

CLPに基づいた推奨クラブ細則は五つの常任委員会から構成されています。

[中略]

次年度からこのCLPを採用する必要がある、それまでにクラブ細則を、変更しなければならないと思い込んでいるクラブも多いようですが、日本でその必要のあるクラブは極僅かではないでしょうか。

[中略]

R I 理事が発表しているCLPの説明は『終焉の淵にあるロータリークラブ』を蘇生させる妙薬であることが明記されています。

外国では、会員数が十名以下のクラブも多く存在し、そういったクラブではクラブを解散すべきか、それとも他のクラブと合併して生き残るべきかが真剣に議論されています。こういったクラブを対象にして、ボランティア活動をするための最小限必要な機能だけ残そうと言うのがCLPなのです。

[中略]

正常に運営しているクラブは無理して採用する必要はなく、従来の推奨クラブ細則にのっとった四大奉仕に基づいた委員会構成を引き続き継承していけばいいと言うのが私の考え方です。

少なくとも会員数20名以上のクラブでは委員会の統廃合をすることで、これに対応することが可能ではないでしょうか。

CLPを採用するか否かはクラブが定める事であり、更にCLPは解散か・合併か・の危機に瀕している機能喪失クラブが、最後の手段として選択する最良の方策だと思われれます。

★ 原田ガバナー補佐・クラブ最終訪問挨拶。

皆さん、こんにちは！本日は、年度最初に計画お約束しました当クラブ5回目の公式訪問であります。

岩切正司会長年度も残り1ヶ月となりました。過ぎ去ってみますと、短い時間の様に感じておられることと推察いたします。ロータリーの役職はやっと慣れていろんなことがわかってきたところが退任のときであります。

私も一年間、中部分区の9クラブを5回訪問いたしましたので、合計45回訪問したことになります。

本日の訪問目的は一年間のお礼にお伺いしたわけではありますが時間をいただきましたので、45回の訪問で感じましたことを少しお話させていただきます。

1 (例会のあり方、)

ロータリーにとって例会が一番時間をとる行事であり、もっとも大切にすべきと感じます。

9クラブのうち7クラブは例会開始前に食事をとり、例会時間を多くとっておられ非常に良い例会をされています。

佐土原クラブでは、12:00より食事を開始され、12:40分より例会プログラムをされておられ、非常に良い時間配分ができています。

次に何と言っても会長のスピーチが重要で、ユーモアを含めた格調高いスピーチが例会の価値を上げ～出席したい例会になると思います。

2 (委員会活動のあり方、)

ロータリーの原点は委員会活動であります。全会員はいずれかの委員会に必ず所属します。会員が直接に参加できるクラブ活動で、これこそが奉仕を志すロータリアンの活躍する舞台であります。

委員会活動を活発にする事が、会員の活性化につながります。次年度の計画も委員会で決定する事が重要です。

3 (ロータリーの勉強会、)

ロータリーを活性化させるために重要な事

の一つが勉強会であります。ロータリーの哲学・何の為にロータリーに入っているのか・これを勉強するわけであります。

4 (奉仕のあり方)

一つの奉仕を一生懸命にしていると色々なことが派生してきます。

一つの奉仕活動から次の奉仕活動に広がって行きます。

最後に・・・佐土原クラブは会員増強も2名純増され、あじさい賞・米山功労賞・伊豆下田RCとの交流～次郎長一家命名・魅力ある週報の発行等大変特徴ある素晴らしい活動を継続されています。今後も会員増強に力を入れられ40名を超えるクラブにしていただければ素晴らしいクラブとして発展されることと思えます。

長期欠席者がおられるとのことですが、自動的会員身分の終結の条件も定款細則に載っています。

時には、正しく前進を続ける為にバックギアを上手に使いながら、新たに前進をする事が必要なきもあります。

当クラブの今後のご活躍を御祈念申し上げ、一年間のお礼のご挨拶とします。

ありがとうございました。

原田ガバナー補佐の卓話の中から抜粋し記載しました。



原田寛太郎ガバナー補佐

～ MENO ～

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

出席状況 第926回 平成18年4月26日			
会員数	28名	欠席者数	7名
出席者数	21名	メイクアップ	1名
出席率	75.0%	修正出席率	78.0%

■ 四つのテスト

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか